

ウミガメ保護へ 回遊先を追跡

絶滅の恐れがあるアカウミガメの太平洋回遊ルートを調べるため、名古屋水族館(名古屋市港区)は、同水族館生まれの一歳になる子亀二十五匹を今月下旬、太平洋のハワイ

名古屋水族館 1歳子亀に発信機



アカウミガメの子亀の甲羅に発信機を取り付ける関係者ら。名古屋市港区の名古屋水族館で

イ諸島の西方約二百五十キロの海域で放流する。同水族館では十八日、人工衛星追跡用の電波発信機を子亀の甲羅に装着する作業が行われた。
(倉知哲也)

アカウミガメは日本の太平洋岸の砂浜で産卵し、ふ化した子亀は北太平洋海域を東に移動しながら回遊。日本沿岸では成長過程にあるアカウミガメが見つかったことがないため、太平洋で約二十年ほど過ごした後、日本に戻って産卵する

ハワイで放流へ

らしいが、詳しい回遊ルートは不明のまま。同水族館はアカウミガメの保護に欠かせないルート解明のため、米海洋大気局(NOAA)と協力して、二〇〇三年から五回にわたって計百匹余りのアカウミガメを房総半島沖やハワイ沖で放流してきた。今回もマッチ箱大の小型電波発信機を、三十センチほどに成長した甲羅に取り付け、電池が持続する約一年半の間、回遊ルートを追跡する。
この日はNOAA所属でウミガメの生態に詳しい生物学者、ジョージ・パラズさんらが子亀一匹一匹の甲羅にガラス繊維シートを張り付け、樹脂を塗りつけて発信機を固定。パラズさんは「アカウミガメが太平洋を舞台に、どう生活しているか、少しずつ解明していきたい」と期待している。子亀は二十日、三谷水産高校(蒲郡市)の実習船「愛知丸」に乗せられて蒲郡港を出航、一週間前後で放流海域に到達する予定。

犬山市長選

「ねじれないと思う」

民主6区支部と後援会支持の違い 石田氏が調整期待

「なごみ問題について」と述べて期待感を示した。



おたまじゃくし

△優しい気持ち▽
(犬の散歩をしている時、
空に浮かぶ月を見て)
子 ママ、お月さまがついてくるよ。家まで送ってくれるのかな？

私 お月さまって親切だね
かわむら・このか(5歳)
犬山市、母・川村みゆき
△なるほど▽
父 みいちゃん。今、学校でどういう勉強しているの？

子 なんかねえ、十字架みたいなの？
私 ？？？
父 ああ、足し算か
かねまつ・みゆき(7歳)
瑞穂区、母・兼松恭代

△タイムスリップ▽
(お堀に沿って歩いていたら大きな城が見え、ひと言)
子 えっ、ここって昔？
くさやなぎ・たいち(8歳)
豊橋市、母・草柳和香代